



# 南中だより

平成26年10月15日  
東久留米市立 南中学校  
校長 川上 智

## 平成26年度全国学力・学習状況調査結果について

東久留米市教育委員会は、9月16日に平成26年度全国学力・学習状況調査の結果を市のHPで公表しました。同時に本校のHPでも結果を公表しています。

本校の平均正答率は国語、数学ともに、東久留米市、東京都、全国のいずれの平均正答率も上回っています。しかし、市や本校の結果の公表には学校別の平均正答率は示されていません。平均正答率とは、平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数）です。

市が学校別平均正答率を公表しないのは、「学力」は家庭や地域の環境要因（経済や社会、文化などさまざまな要因）との相関が強いということが多くの調査や研究から知られています。子供本人や学校の努力の及ばない、環境要因に左右される学校別平均正答率を公表しても、(学校間の)学力向上に向けた真の競争にはならない。」との考えによるものです。※（ ）内は川上が付記

一方で本市では、正答数の分布は各学校別に公表しています。すべての子供たちが基礎学力を身に付けたか否かという学力定着の分布を示し、保護者や地域に対する説明責任を果たしていくためです。  
※HP 東久留米市教育委員会 →最新のお知らせ →全国学力・学習状況調査及び市学力調査の結果について →学校ごとの結果（中学校）に掲載

本校のHPに掲載してある「平成26年度 南中学校 学校経営方針」の「平成26年度の重点課題」の一つが、「基礎・基本の定着と確かな学力の育成を図るための研究の推進」です。南中のすべての子供たちの学力向上のために、本校では日々授業研究を行い授業改善に努めています。その取組の結果の一端をこの調査結果でお知らせしています。

本校の平均正答率は市、都、国のいずれの平均正答率も上回っているものの、国の平均正答率に満たない生徒の割合は、数学で3割弱、国語にいたっては3割を超えており、今後も学力向上に向けた取組を一層推進していかなければなりません。

本調査結果等について、疑問点やご意見があれば、どうぞ遠慮なくお声をお聞かせください。よろしく願いいたします。